

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月13日(木)

事務事業		予防接種事業			担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29121	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	■ 自治事務 ■ 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	予防接種法 深谷市行政措置予防接種実施要綱 深谷市任意予防接種費用助成金交付要綱				
	小項目	1	健康づくりの推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		本事業はA類疾病（ロタ胃腸炎、ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、結核、麻疹、風疹（第5期含む）、水痘、日本脳炎、子宮頸がん）及び、B類疾病（高齢者インフル、高齢者肺炎球菌）の発症・重症化防止として、予防接種法・市行政措置予防接種実施要綱に定めた年齢の市民を対象に、接種機会の安定的確保、高い接種率の維持を目指すものである。令和2年度より新型コロナワクチン臨時接種を実施。令和5年度より市が指定する任意接種の費用助成を開始。									
目的 ※何のために		A類疾病の発生及び蔓延予防、B類疾病の個人の発病また重症化防止、新型コロナウイルスの感染拡大及び重症化防止、その他任意接種となっている疾病の発症予防・重症化防止のため。									
対象 ※誰・何を対象に		・予防接種法または深谷市行政措置予防接種実施要綱、任意予防接種費用助成金交付要綱に定められた年齢の市民									
手段 ※どのように		・委託医療機関での個別接種 ・臨時接種は集団接種及び個別接種 ・任意予防接種の費用助成									
成果 ※何を求めるか		予防接種の接種機会を安定的に確保することにより、接種率の維持・向上を図ることができ、感染症の発生及び蔓延を防止し、市民の感染症の発病また重症化リスクを軽減することができる。									
執行体制		■職員 ■一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア □NPO等 □その他（ ）									
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	予防接種費	予防接種事業		477,600,835
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	予防接種費	新型コロナウイルスワクチン臨時接種事業		574,464,049
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	予防接種費	新型コロナウイルスワクチン臨時接種事業		1,622,220
本事業の 主な業務		・個別予防接種（A類疾病）							・任意予防接種費用助成（市が指定するワクチン接種）		
		・個別予防接種（B類疾病）							・		
		・行政措置予防接種（高齢者肺炎球菌）：市単独							・		
		・予防接種補助金交付（委託契約医療機関外での接種）							・		
		・臨時接種事業（新型コロナワクチン）導入・実施							・		
		・造血細胞移植後ワクチン再接種費用補助							・		

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・風疹追加的対策の継続・子宮頸がんキャッチアップ接種の開始・臨時接種の継続	・臨時接種（新型コロナ）継続・任意予防接種費用助成制度の新設	・予防接種法改正に対応した定期予防接種の実施（新型コロナ・5種混合・高齢者肺炎球菌）			
事業費	予算（現額）	1,900,155,000	1,115,333,000	514,693,000	863,091,000		
	決算額	1,827,763,119	1,053,687,104	0	0		
	財源内訳	国支出金	912,481,680	560,676,666	3,330,000	0	
		県支出金	0	5,768,490	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	1,259,965	1,843,520	0	0	
		一般財源	914,021,474	485,398,428	511,363,000	863,091,000	
人件費	従事職員数（人）	4.95	4.29	3.09	3.09		
	人件費相当試算※	38,954,308.00	34,363,608.00	25,835,181.00	25,835,181.00		
総事業費試算		1,866,717,427	1,088,050,712	540,528,181	888,926,181		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	接種勧奨回数		目標値	回	22.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
			実績値		43.00	52.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			接種状況を見ながら啓発を図る。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	麻しん風しん（第1期）接種率		目標値	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
			実績値		92.80	94.20				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国の麻しん排除計画における接種率を目標値として設定 / 接種率						
	実績値の算出式									
成果指標 2	高齢者インフルエンザ接種率		目標値	%	60.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
			実績値		70.20	68.20				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績から目標値を設定 / 接種率						
	実績値の算出式									
成果指標 3	1歳～就学前までの麻しん罹患率		目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国の麻しん排除計画における目標値と同様 / 罹患率（保健所：感染症発症動向						
	実績値の算出式									
成果指標 4	1歳～就学前までの風しん罹患率		目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国の麻しん排除計画における目標値に連動して設定 / 罹患率（保健所：感染症発症動向						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	感染症の発症予防、蔓延・重症化防止のため高い接種率維持を目標に、接種率により随時、個別通知での接種勧奨、メール配信等で広く周知を実施。学童期の接種では学校保健と連携した。特に時限的措置、法改正について対象者への個別通知や医師会の協力により周知を強化。新型コロナワクチン臨時接種では、国の随時の方針変更に対応し接種券の発送・周知、ホームページ等で広く情報提供を実施。以上のことから、評価をAとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	予防接種全体では概ね接種率を維持できたが、麻しん風しん第1期の接種率が95%の目標値に達しなかった。本接種率については令和3年度より全国的に95%を下回る傾向が続いている。MRワクチンの流通が停滞した影響もあると考えるが、現在、世界的に麻疹が流行している状況にあり輸入感染症として国内に持ち込まれるリスクが常年在していることから、今後も接種率の向上を目指す必要があることから、評価をBとした。
評価者			健康推進係長 鳥羽久美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	新型コロナワクチン臨時接種予約管理システム・コールセンターを継続し市民の利便性を図ったこと、医療機関との予約情報共有と膨大な予診票をデータ化し管理システムへの自動取込による事務の精度向上・効率化を図った。また任意予防接種費用助成を新設し、医師会の協力のもと代理受領助成制度を導入し、申請から接種まで医療機関で直接実施でき、市民の利便性や事務の効率化を図ることができたことから、評価をAとした。
評価者			健康推進係長 鳥羽久美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナ臨時接種について、国の動向に注視しながら、円滑な接種の継続と定期接種化に向けた準備を進める。・市民の感染症罹患のリスクを軽減するため、任意予防接種費用助成制度を新設する・接種データ管理の精度向上、効率化を行う。（高齢者インフルエンザ接種）
達成状況及び その効果	新型コロナワクチン臨時接種については、終期に向けて円滑な接種に努め、また令和6年度の法改正に向けて国の動向に注視しながら準備を進めてきた。任意予防接種費用助成については円滑に開始でき、当初の想定を大きく上回る実績となっている。接種データ管理は新型コロナワクチン接種での業務を活かし、高齢者インフルエンザ接種にも展開できるようノウハウを検討した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予防接種事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		予防接種全体において接種率の維持を目指す、特に麻しん風しん予防接種についての接種動奨を強化するなど成果向上に努めていく必要がある。また本年度は高齢者肺炎球菌ワクチン接種の経過措置・行政措置の終了に伴い、対象者等への周知に努めた。令和6年度は新型コロナワクチンの定期接種化、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種及び風疹の追加的対策の終了など、予防接種法の改正による変更があり、本年度から準備を進めているところであるが、円滑な接種に向けて周知方法等を検討していく必要がある。併せて、接種データについての事務の効率化・精度向上に向けて取り組んでいく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 笠原正幸				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	<ul style="list-style-type: none">・個別通知、SNS（市公式LINE、市メール配信サービス）を活用した接種動奨・周知・予防接種法の改正に対応した円滑な接種の導入・接種データ管理について精度向上、事務の効率化を実施（高齢者インフルエンザ）
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	<ul style="list-style-type: none">・全ての予防接種について接種データ管理の精度向上、事務の効率化を図っていく。

8. 評価指標グラフ

